

星を見る会

2016年7月29日（金曜日）

「肉眼5惑星をすべて見る!？」

スッキリとしない天気がつづいていましたが、ようやく梅雨が明けました。猛暑や水不足は困りますが、抜けるような夏らしい青空を期待したいですね。夏休みは旅行やキャンプなどで空が暗いところへ出かける人も多いのではないのでしょうか？ 天の川もよく見える季節ですから、ぜひ満天の星を楽しんでほしいと思います。

さて、今年の8月9日は何の日か知っていますか？ 実は七夕の日なのです。「え、七夕って7月7日じゃ…？」と思われるかもしれませんが、七夕はそもそも旧暦（月の満ち欠けをもとにしていた昔のカレンダー）の行事です。今の暦と旧暦は日付がズレてしまっているため、旧暦の七夕の日は7月7日ではなく、今年は8月9日になるというわけです。

旧暦は月の満ち欠けをもとに作られていますから、7日には必ず半月に近い形の月が見られます。昔はこれを牽牛（ひこぼし）が乗って天の川をわたる舟に喩えていたとか。七夕の星たちと舟形の月のスリーショットは新暦では見られるとは限りません。8月9日の夜はぜひ、七夕の星たちを眺めてみてください。博物館でも「星を見る会」実施します。



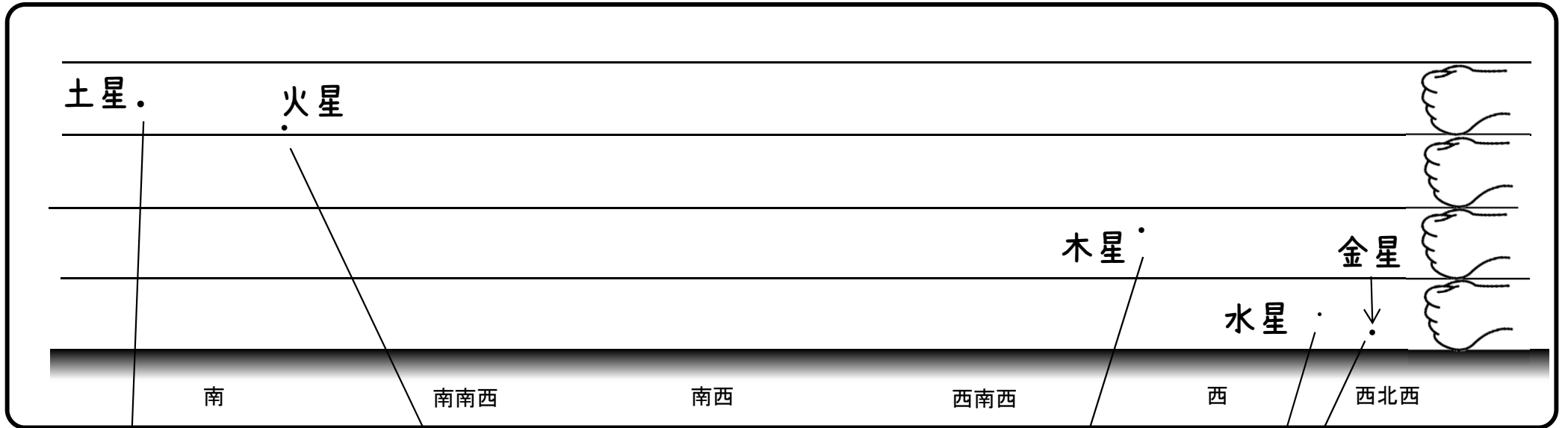
8月9日20時の南の空の様子 織女星（おりひめぼし）は天頂に近く描かれていない

☆星空の地図：星図の見かた☆

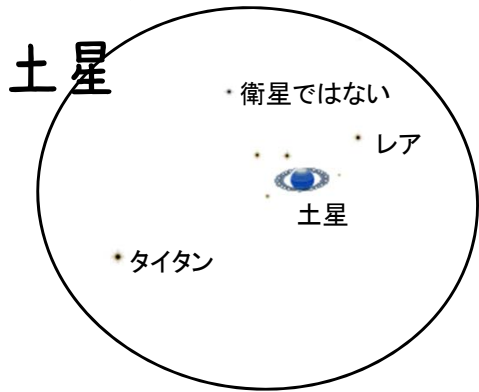
星図は、あかるい星は大きく、くらい星は小さく書いてあります。東をむいて立つときは、図の「東」を下に、西をむいて立つときは「西」を下にしてもちましよう。星図の縁のまるい線が地平線、まるのまん中が頭の真上（天頂）です。

見えるか！？5惑星

7月の下旬、西から南にかけての空に、肉眼で見える5つの惑星が大集合。金星と水星はとても低いところにあるので見えるかどうか…レッツ、チャレンジ!

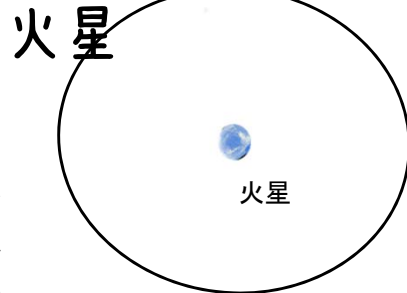


7月29日19時30分に望遠鏡でのぞいた様子



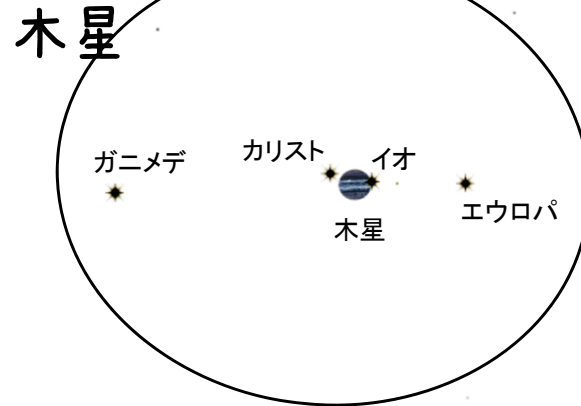
土星のシンボルともいえる環(リング)はここ数年が見ごろ。環の中にすきまが見えるかどうかもチャレンジ。衛星もいくつか見えるはず。

今年5月31日に地球に接近していた火星。もうだいぶ遠ざかったので、明るく見えていてもかなり小さいです。望遠鏡で模様が見えるかどうか。火星も実はほんの少しだけ満ち欠けをするので、真ん丸じゃないことはわかるかも? 次の接近(2018年)は大接近なので乞うご期待!



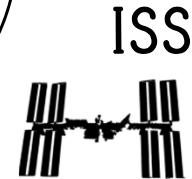
7月29日19時30分に望遠鏡でのぞいた様子

7月29日19時30分に望遠鏡でのぞいた様子



水星と金星は望遠鏡で見ても形がわかりづらいかもしれません。高い倍率で見れば、水星は半分よりやや太った形、金星はほぼ真ん丸に見えるでしょう。

そろそろシーズンオフをむかえる木星。まずは木星のまわりを回る衛星が見えるかどうかチェック! 見る時刻によって配置は変わります。加えてしまもようは見えるでしょうか?

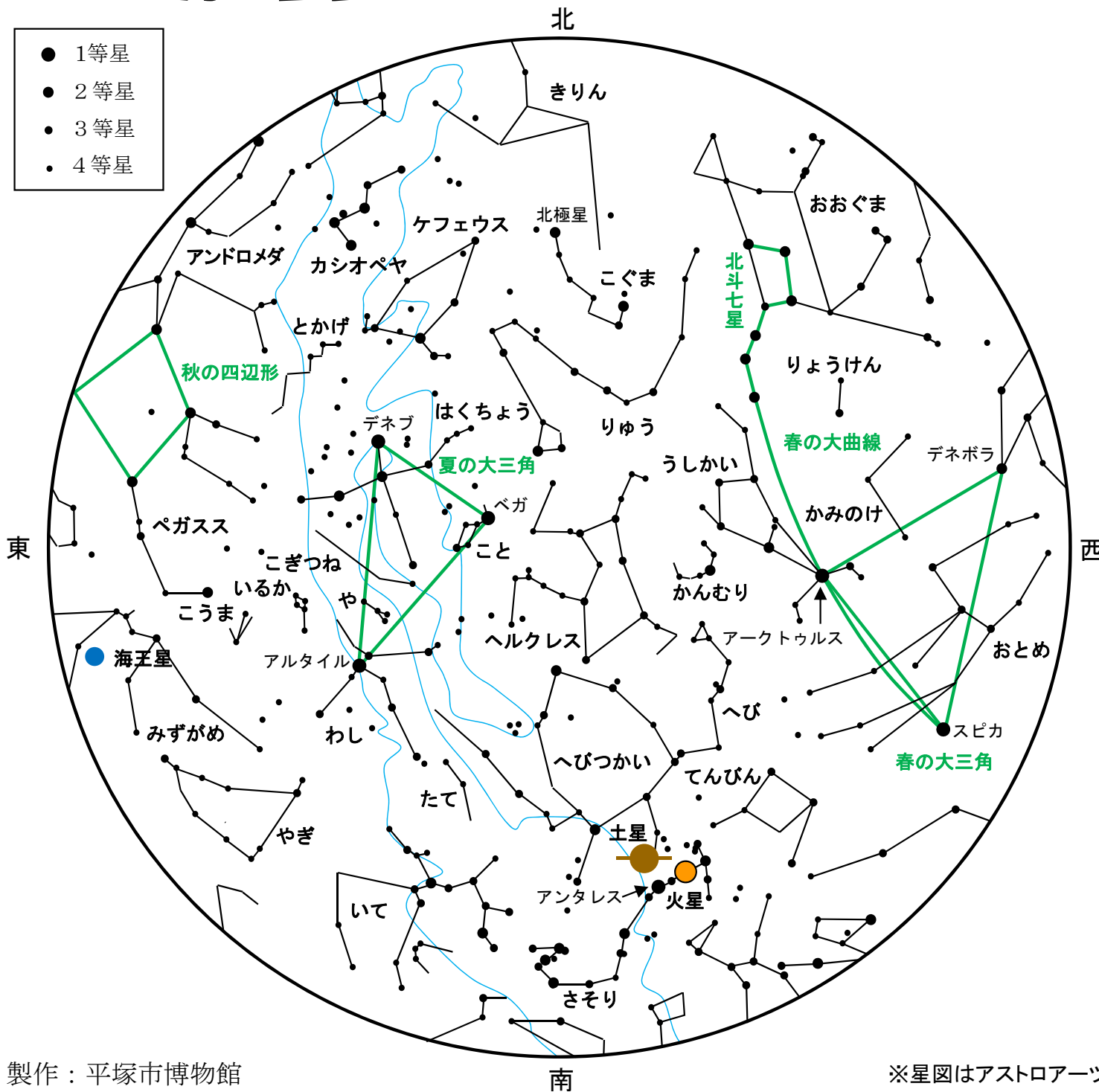


ISS
今日は大西卓哉宇宙飛行士が乗った国際宇宙ステーションも見えます!

☆☆8月の星空☆☆

○●8月の月・惑星●○

- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星



- 月: ● 新月 → 3日(水)
- 上弦 → 11日(木・祝)
- 満月 → 18日(木)
- 下弦 → 25日(木)

惑星

- 水 星: 上～中旬の夕方、西の空低くに見える。
- 金 星: 夕方の西の空かなり低くに見える。
- 火 星: 夕方、南西～西の空に見える。
- 木 星: 夕方、西の空低くに見える。
- 土 星: 夕方の南西～西の空に見える。
- 観望好機**
- 天王星: ほぼ一晩中見えているが、肉眼ではほぼ見えない。
- 海王星: 一晩中見えるが、肉眼では見えない。

※8月28日、金星と木星が大接近

この星図は、
 8月 1日頃 21時頃
 8月 15日頃 20時頃
 8月 30日頃 19時頃
 の星空を示しています。

惑星は15日20時頃の位置です。